

2017年4月28日

千葉県知事 森田 健作 様

第一生命保険株式会社
代表取締役社長 稲垣 精二

平成 28 年度活動状況報告書

平成 28 年度の活動について下記の通り報告いたします。

記

I. 高齢者の見守り

昨年度に引き続き、成田支社管轄内の 11 市 7 町（佐倉市・八街市・東金市・四街道市・銚子市・香取市・匝瑳市・旭市・成田市・富里市・山武市・九十九里町・横芝光町・芝山町・多古町・東庄町・神崎町・酒々井町）を中心に、そして成田支社以外の県下 3 支社にも適宜活動を連携し活動範囲を広げながら、日々の地区訪問活動等を通して地域の高齢者の見守りに取り組んでまいりました。

成田支社においては、毎月 1 日を高齢者見守り活動進発日と定め、特にこの日は改めて生涯設計デザイナー一人ひとりが「高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり」という目的を再認識する日として、70 歳以上のご契約者宅への定期訪問や地域の見守り活動を積極的に行っております。

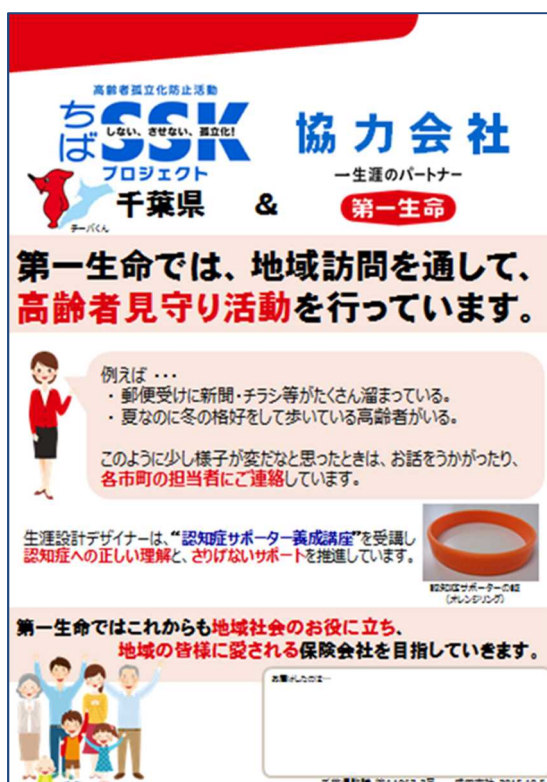
活動も三年目に入り、今年度に報告のあった高齢者見守り・救助事例等は別紙に記載のとおり、報告されただけでも 50 事例を超えております。この報告以外にも一人暮らしの高齢者を見守っていることへの別居ご家族の感謝の声は毎月たくさん寄せられて、地域の皆さまのお役に立てていることを実感しております。

県内の各市町村との「高齢者見守りネットワーク」協定の締結におきましては、習志野市・神崎町と新たに締結し、2017年3月末現在で、14市5町と締結しております。

II. 「ちばSSKプロジェクト」

『私たちは高齢者を見守っています』と書かれた、ちばSSKプロジェクトのロゴ入りネームホルダーを社員は常に身につけて活動し、地域に幅広く高齢者見守りについての認知度を高め、更に昨年度作成した地域の方々にお配りするチラシも、県のちばSSKプロジェクトのチラシとともに配布するなど、「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発に日々努めております。

チラシ ↓



ホルダー ↓



Ⅲ. 認知症対策

認知症サポーター養成講座の受講につきましては、今年度計 2 回開催、今までの 407 名（退社した社員も含む）に加え、さらに 60 名が認知症サポーターとなり、成田支社においては、全社員が認知症サポーターです。また、認知症徘徊 SOS ネットワーク事業の取組のある自治体とも徐々に締結しております。

Ⅳ. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

一人暮らしの高齢者のお話し相手や日常のささやかなお手伝いをすることで、一人ではないことを実感いただけていることを、日々の感謝の声から伺えます。

また、健康診断の受診率の向上を地域の皆さまに推進しており、がん検診においても受診おすすめチラシを配布して、積極的にがん検診の啓発に取り組んでいます。

Ⅴ. 高齢者の安心・安全

生命保険協会千葉県協会を通じて送付される「千葉県警察からのお知らせ」を活用し、オレオレ詐欺の未然防止に向けての地域への声かけにも力をいれて活動しております。

高齢者宅訪問時、過度な宅配物等が置かれているなど、特に不審な情報は見受けられませんでした。引続き、被害の未然防止に努めます。

以上